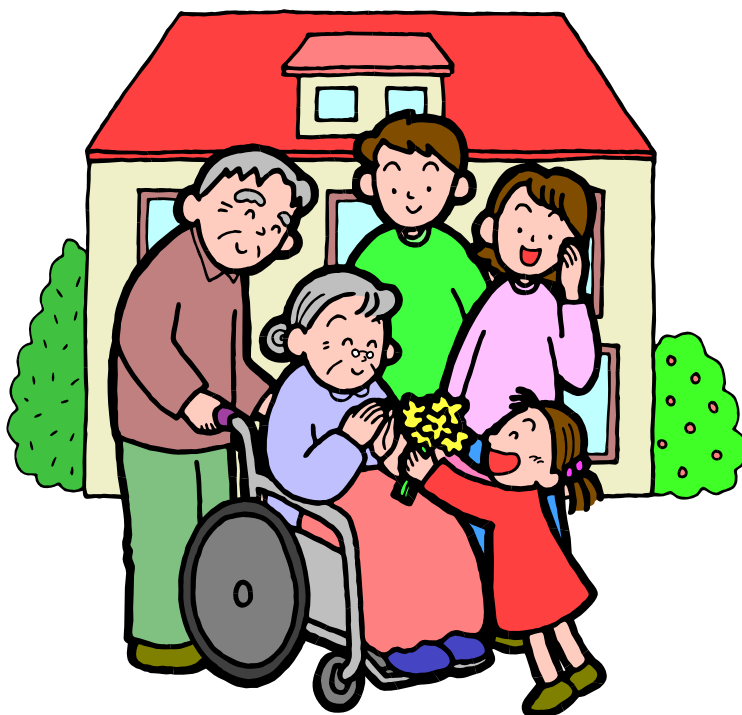


北海道福祉のまちづくり表彰

令和2年度
北海道福祉のまちづくり賞 受賞事例集



障がいのある人やお年寄り、赤ちゃんを連れた人など

みんなにやさしいまちづくりを進めましょう！

北海道福祉のまちづくり表彰は、平成10年「北海道福祉のまちづくり条例」の施行の年にスタートし、今年度で21回目を迎えました。福祉的配慮に優れた優良事例を広く道民や関係事業者に紹介し、普及啓発を図ることを目的に実施しています。

公共的施設などの整備、障がい者や高齢者等の自立・社会参加の支援活動、障がい者や高齢者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための用具の製作を奨励するべく3部門構成で募集を行い、「福祉のまちづくり」を推進しています。

今年度は、公共的施設部門8件、活動部門14件、福祉用具部門4件の御応募をいただいた中から、学識経験者、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する懇談会による意見聴取等を経て、公共的施設部門2件、活動部門3件、計5件を北海道福祉のまちづくり賞に選定しました。

令和2年度(2020年度) 北海道福祉のまちづくり表彰の概要

1 趣 旨

誰もが安心して暮らすことができるような「福祉のまちづくり」を進めるため、福祉的配慮に優れた公共的施設等の所有者・設計者、障がい者等を支援するための活動を行っている団体及び障がい者等の自立支援や介助者の負担軽減を図る福祉用具・製品等の製作者を表彰します。

2 主 催

北海道

3 後 援

札幌市、北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会

4 対 象

○ 公共的施設部門（福祉的配慮に優れた公共的施設等）

北海道福祉のまちづくり条例に規定する公共的施設等（※）で、道内に所在し、平成29年(2017年)7月1日から令和2年(2020年)6月30日までに完成したもの。

※ 多数の人が利用する病院やスーパーマーケット、サービス付き高齢者向け住宅等の建築物、公共交通機関(駅舎等の施設及び車両)、公園など

○ 活動部門（障がい者・高齢者等の自立・社会参加支援活動）

北海道福祉のまちづくり条例の趣旨に基づき、障がい者・高齢者等の自立と社会参加を支援するために、道内で取り組まれている活動。

○ 福祉用具部門（福祉用具、製品等）

道内において研究開発又は製作された、障がい者や高齢者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための用具(福祉用具、製品等)。

5 応募方法

所定の応募用紙を提出。他薦も可。

6 募集期間

令和2年(2020年)5月1日(金)～令和2年(2020年)6月30日(火)

7 北海道福祉のまちづくり懇談会構成員（五十音順）

佐藤 克之 北翔大学 名誉教授

三瓶 徹 社会福祉法人 北海長正会 理事長

白石 淳 北海道医療大学 看護福祉学部 教授

牧野 准子 障がい当事者講師の会 すぶりんぐ 代表

山本 明恵 特定非営利活動法人 さっぽろ住まいのプラットホーム 理事長

8 懇談会経過等

第1回懇談会 7月31日(金)

公共的施設部門現地確認 8月12日(水)、20日(木)

第2回懇談会 8月31日(月)

表彰式 10月23日(水)

9 お問い合わせ先

北海道保健福祉部福祉局地域福祉課企画調整係

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111 (内線25-613) / FAX 011-232-4070

令和2年度 北海道福祉まちづくり賞
(公共的施設部門)

新釧路道銀ビル 釧路市中央図書館



【複合建物の中に楽しみながら学ぶ新しい形の図書館】

アクセスのよい市街地の中心に立地した複合建物の中に位置するこの図書館は、3～7階のフロアーが分かりやすく構成され、誰もが利用しやすい細やかな福祉的配慮がされている。

条例に基づく整備基準を満たし、複合建物ならではの動線確保やセキュリティー、災害時の安全性を重視しつつ、身近な図書館として閲覧、学習、視聴覚、歴史展示などのコーナーやラウンジなど多目的な利用を目指した学びとゆとりと楽しさを共有できる街なか図書館として総合的に評価された。



閲覧室



文学館



多目的トイレ

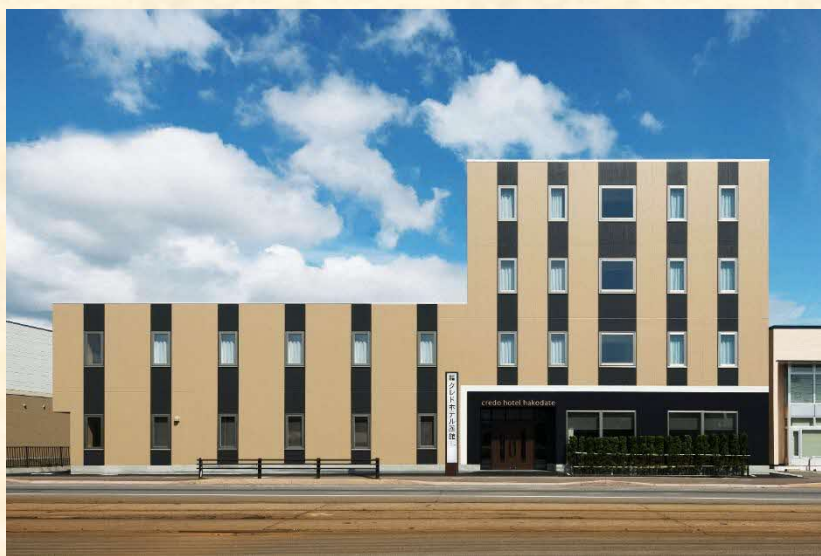
受賞者の声

釧路市中心市街地活性化に寄与するために、当社ビル移転新築に併せて、釧路市との連携を進め、市立図書館に入居頂きました。今後も図書館と連携して、「市民に優しいまちづくり」に貢献して参ります。

所有者：北海道建物株式会社
設計者：創建社・ドーコン共同企業体
所在地：釧路市北大通10丁目

令和2年度 北海道福祉まちづくり賞
(公共的施設部門)

社会福祉法人函館恵愛会 クレドホテル函館



【新しい工夫のあるバリアフリーホテル】

建物内は、手すりの点字表示のほか、容易に識別できるようフロアごとに色を変えており、車いす使用者用のテーブルも設置されている。

客室内も車いす使用者の手が届きやすいようにタオルや備品の高さも考え、洋服掛けもS字フックの連結で高さを調整するなど、お金をかけない工夫されたバリアフリーとなっている。

限られた予算とスペースの中で、利用者の視点に立った新しく、使いやすい工夫がされていること、また障がいのある方が担当しているホテル内の清掃も行き届いており、職場内で個々ができることを発揮していることなどが総合的に評価された。



フロント
(車いす用テーブル)



バリアフリー客室



リネン作業

受賞者の声

当ホテルはリネンを障がいのある方をお願いしています。その中であって設計の理念に障がいのある方にも安心してお泊まり頂ける宿泊施設を作ろうと努力を致しました。受賞によって働くみんなの大きな励みになると思います。

所有者：社会福祉法人函館恵愛会
設計者：山田総合設計株式会社
所在地：函館市深堀町22番42号

令和2年度 北海道福祉まちづくり賞
(活動部門)

全日本玉入れ協会



【新しいパラスポーツ「車いす玉入れ」】

「全日本玉入れ選手権」は、和寒町発祥のニュースポーツとして「全日本玉入れ協会（AJTA～アジャタ）」と和寒町が連携して競技の普及を行ってきた。

令和元年度から、新たに「車いす玉入れ（ウィルチェアー・アジャタ）」を開始、障がいのある方を含め、すべての人がともに楽しめるスポーツとして、大会にも多くの車いすチームが参加している。

また、道内での普及活動のほか、今後、道外での普及活動も予定されており、全国的な広まりも期待されることなどが総合的に評価された。



大会開幕



選手宣誓



車いす玉入れ競技

受賞者の声

ウィルチェアー・アジャタは、健常者、障がいのある方が共に行えるスポーツとして、試行錯誤の末、昨年より初めて正式な競技として取組を行いました。

この受賞をきっかけに更なる競技の普及に努めていきたいと思っております。

所在地：上川郡和寒町字西町18番地

令和2年度 北海道福祉まちづくり賞
(活動部門)

国立大学法人帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター 馬介在活動室



【人と馬の絆による教育・研究・社会貢献活動】

障がいのある方の心身の健康増進や外出機会の増加など、生活の質の向上を目的に、馬とのふれあいや乗馬体験のほか、学生への障がい者乗馬教育、障がい者乗馬に適した馬の生産に関する研究活動等を実施している。

ばんえい競馬が開催されている十勝地方の身近な存在であり、大学の特色でもある「馬」と「人」との絆をもとに、障がいのある方への支援活動を実施していることなどが総合的に評価された。



馬とのふれあい



乗馬療育講習会



子馬の生産

受賞者の声

本学の特色である活動を評価頂き大変光栄に思います。今後も馬に関する教育研究活動を継続し、人間と馬が共存できる豊かで潤いのある社会づくりに貢献することを目指していきます。

所在地：帯広市稲田西2線11番地

令和2年度 北海道福祉まちづくり賞
(活動部門)

北海道医療大学 オープンカレッジ準備委員会



【「もっと勉強したい!」という思いをかなえる場】

「もっと勉強したい!」という学校を卒業した知的障がいのある方に対し、生涯学習の機会を提供するため、平成15年から学生が主体となった「オープンカレッジ in 北海道医療大学」を開催している。

運営スタッフや学習サポーターとして多くの学生が参加しているほか、地域で活動している方も講師として参加しており、地域ぐるみで活動を展開していることなどが総合的に評価された。



開会式



講義



レクリエーション

受賞者の声

このような賞を頂けて光栄に思います。この賞を頂けたのも仲間や先生、たくさんの方にご協力頂いたからこそと思っております。今後も来てくださる受講生さんの思いに少しでも応えられるようスタッフ一同頑張ります。

所在地：石狩郡当別町金沢1757
北海道医療大学内